

総務常任委員会のテーブル①における参加者の主な意見等

番号	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 高齢者が免許返納すると、郊外の交通網が薄く不便である。 ▪ 野々市市や内灘町では行政が運営しているのっティなどのコミュニティバスがあるが、金沢市の郊外の交通も野々市や内灘をモデルにもっと考えてほしい。 ▪ ふらっとバスはよく利用するが、平日でも高齢者がたくさん乗車している。高齢化が進む中、郊外の交通に対してこれから先どのように考えているのか。
2	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 熊本のLRTは車いすの人に優しい乗り物だと思った。富山のLRTは車いすでの乗降に運転手の手伝いが必要なため、車いすの人たちにはハードルが高い。 ▪ 車いすの人、ベビーカーを押す人たちに優しいLRTを金沢駅～香林坊間の市中心部に導入したらよいのではないか。 ▪ 大きなバスは不要であり、市中心部はLRT、郊外は普通免許で運転できる車がよい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 学校や大病院、老人施設が全部郊外にあり、都市交通とまちづくりの計画が利用者視点に立っていない。交通弱者が行きにくい場所にある。 ▪ 浅野川線、石川線が分断され、都市交通が駅と繁華街をつないでいないため、意味をなしていない。 ▪ LRTは魅力的ではあるが、道路が狭い金沢では難しいと思われる。次世代につながる価値のあるインフラなので、例えば100年ローンの借入れなど、通常のやり方ではなく抜本的に財源を考えて国を巻き込み進めてほしい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 金沢は観光都市なので、徒歩で観光できるまちづくりを考えたときに、バスよりLRTが有効である。 ▪ 若者が夢を叶えることができるまちづくりを目指すため、大学と連携を図りながらまちづくりに生かしてほしい。単に卒業後に働く場所があるというのではなく、夢に沿った働くことができるまちにしてほしい。 ▪ 人口が減少する中、行政区域変更も考えられるが、そうした時の金沢の位置づけを見据えて近隣6市町で普段から交流を持ち、今後の石川県の中心都市としてどうあるべきかを考えていくシステムをつくってほしい。

経済環境常任委員会のテーブル②における参加者の主な意見等

番号	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地球温暖化ガス削減のために、再生エネルギーを有効にかつ安全に推進することが大切である。 ▪ まちなかの緑化率を高めるために、駐車場や屋上等を緑化することは効果的である。 ▪ 廃材を用いたバイオマス発電など、新たなエネルギーを積極的に取り入れるべきである
2	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 水道事業の今後に興味がある。金沢市独自の水源をどう維持していくのか。民営化はないとのことであるが、国が目指すウォーターPPPなどは民営化の入口ではないかと思っており、懸念している。 ▪ 末浄水場の緩速ろ過システムは優れたものであり、残す方向で考えてほしい
3	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 気候危機による環境問題で懸念がある。個々の生活では実感がないが、地球が変化している現在、自治体単位で変わっていかなければならない。 ▪ 市でできることとして、交通や森林、住宅の問題があると思うが、システムとして変わる必要があると思う。
4	<ul style="list-style-type: none"> ▪ さまざまな理由で困難を抱えている人について、支えられるだけでなく、支える側にも回り、役に立ちたいと思う人がいる。そのような人でも活躍できる環境があればよい。

建設企業常任委員会のテーブル③における参加者の主な意見等

番号	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進む中、限られた予算の中でインフラを整備し、コンパクトシティー化を進めていってはどうか。 ・高齢者や運転免許証自主返納者が増加する一方、バス・タクシー等の運転手不足が懸念されるが、どう都市計画をどう進めていくのか。 ・金沢市都市計画マスタープランにはいろいろな内容が網羅されているが、どのように優先順位をつけていくのか。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市北部地域の開発促進を提案したい。 <ul style="list-style-type: none"> ①中心市街地のサテライト的な市街地としての開発推進 ②河北潟や田近越古道といった文化・自然資産の活用 ③地域運営交通の中心市街地への直通化による新しい交通網の構築 ④農業振興の規制緩和による開発の推進 ・金沢市北部地域の県有地で石川県消防学校の移転や防災拠点の整備が検討されているが、面積が約30ヘクタールもあるので、一部を市が買い取って北部地域活性化のために有効活用してほしい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生がしがらみのない友人関係の構築やサークル活動が行えるよう、中高生専用のセカンドコミュニティの場所を提供してほしい。 ・財政難、人口減少、少子高齢化といった課題の解決のためには、子育て世代を増やすべきである。 ・中高生の幸福度が足りないの、友人づくりをサポートする場所が必要であり、中高生に的を絞った施策を行うことで、市外から子育て世代が転入してくるのではないか。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの通学路における交通安全について、責任担当が不明瞭である。 ・交通事故への対策・改善はほとんどが発生後に行われており、それでは遅いので、危険予知を考えて対応してほしい。 ・子どもの交通事故防止に関する議会質問が少ないと感じる。 ・災害時の道路確保や安全対策のための無電柱化はよいと思うが、観光客が訪れる場所の景観のための無電柱化をまちの隅々まで行う必要はないと思う。